

生物多様性・COP10 とは

COP(Conference of the Parties)とは

国際条約の締約国が集まって開催する会議のことです。生物多様性条約では、条約の締約国が概ね2年ごとに集まり、各種の国際的な枠組みを策定するCOPが開かれます。

COPに併せ、関連する議定書の締約国による会合MOP(Meeting of the Parties)が開かれます。生物多様性条約のMOPは、カルタヘナ議定書(Cartagena Protocol on Biosafety)締約国会合です。

2010年には、生物多様性条約第10回目締約国会議(COP10)が愛知・名古屋で開催されます。

この2010年は、国連の定めた「国際生物多様性年」であり、2002年のCOP6(オランダ・ハーグ)で採択された「締約国は現在の生物多様性の損失速度を2010年までに顕著に減少させる」という「2010年目標」の目標年にもあたります。ですから、COP10は生物多様性条約にとって節目となる重要な会議です。

主催者:生物多様性条約事務局(カナダ・モントリオール)と開催国政府

参加者:約7,000名(COP9会議登録者 約5,000名:国連関係者・各国政府関係者・NGOなど)

開催期間:2010年10月11日(月)~29日(金)の約3週間

カルタヘナ議定書第5回締約国会合(COP/MOP5):11日(月)~15日(金)

生物多様性条約第10回締約国会議(COP10):18日(月)~29日(金)

閣僚級会合:COPのうち27日(水)~29日(金)

COP10での主な議題(想定):

2010年目標の達成状況の検証及び新たな目標の策定

遺伝資源へのアクセスと利益配分(ABS)に関する国際的な枠組みの策定 など

過去の開催地:

過去の開催地		
COP1	1994年11月	バハマ・ナッソー
COP2	1995年11月	インドネシア・ジャカルタ
COP3	1996年11月	アルゼンチン・ブエノスアイレス
COP4	1998年5月	スロバキア・ブラチスラバ
COP5	2000年5月	ケニア・ナイロビ
COP6	2002年4月	オランダ・ハーグ
COP7 /MOP1	2004年2月	マレーシア・クアラルンプール
MOP2	2005年5月	カナダ・モントリオール
COP8 /MOP3	2006年3月	ブラジル・クリチバ
COP9 /MOP4	2008年5月	ドイツ・ボン